

「ウィーン・ミュージカル『エリザベート』を味わい尽くす～その(1)」

お話・演奏：田辺 秀樹（一橋大学名誉教授）

1992年にウィーンで初演され大ヒット、その後日本でも宝塚歌劇団や東宝ミュージカルで上演されて大人気となった『エリザベート』（脚本・作詞：ミヒャエル・クンツェ、／作曲：シルヴェスター・リーヴァイ）を、2回（場合によっては3回）にわたって取り上げます。オーストリア＝ハンガリー帝国の皇后エリザベートの生涯を描いたこの傑作ウィーン・ミュージカルは、ヒロインとともに＜死（神）＞が主役を演ずるということからしても、＜死＞と親和的なウィーンの文化的伝統と深いつながりのある作品です。そうした点にも注目しながら、ウィーンでの上演ビデオ（日本語字幕付き）を見て、このミュージカルをとことん味わい尽くしましょう。

後半はお飲物とともにピアノ演奏をお楽しみいただきます！

日 時 2017年 5月30日（火） 14:00～16:30
参加費 ¥3,500（ワイン、お茶、おつまみが付きます）
会 場 カーサ・モーツァルト

東京都渋谷区神宮前1-10-23 3F

JR「原宿駅」徒歩5分
東京メトロ「明治神宮前駅」出口5徒歩2分
ラフォーレ原宿裏、東京中央教会前



申込み メール：info-cmma@casamoz.org
FAX：03-3497-1833

メールまたはFAXにお名前、ご連絡先、ご希望人数を明記ください。

田辺 秀樹（タナベ ヒデキ）

1948年東京生まれ。東京大学大学院ドイツ文学科修士課程修了。
ボン大学に留学し、ドイツ、オーストリア各地でオペラ見物やコンサート通いに精を出す。専門はドイツ語・音楽文化論。研究対象はモーツァルト、ドイツ語圏の歌曲、歌劇、芸能など。音楽評論、放送番組解説でも活動、
秘かに「酒席ピアニスト」としても活躍している。
著書に「モーツァルト」（新潮文庫）、「モーツァルト16の扉」（小学館）。
「リヒャルト・シュトラウスの実像」（共著・音楽之友社）ほか。



Casa Mozart
MUSIC ASSOCIATION